

## ごあいさつ

特別協賛である栃木トヨタ自動車の新井社長から来場者へのご挨拶があり、「今後も子ども食堂を中心とした地域支援を継続していきたい」との思いが語されました。

日頃の取り組みを支える多くの方々への感謝とともに、地域のつながり大切にしながら活動を広げていく姿勢が示されました。



左から、山口さん、鈴木専務、新井社長、松本専務

## 支援物資贈呈式

昭和こども食堂の山口ますみさんから、子ども食堂での取り組みについて紹介があり、続いて栃木トヨタから支援物と目録が贈呈されました。子どもだけでなく、一人暮らしの高齢者や転入してきた方など、地域で孤立しがちな人を支える“コミュニティの居場所”としての役割にも触れられ、思いやりと優しさの大切さがあらためて共有されました。

たくさんの食品支援  
ありがとうございます!

## オリジナル楽器づくり

参加者は持参したペットボトルにどんぐりやビー玉などを自由に入れ、「歌う海賊団ッ！」のステッカーを貼り、オリジナル楽器を作り上げました。

オータムファミリー  
コンサート in ミナテラス

清々しい秋空と心地よい風に包まれる中、「下野新聞 いのちにハグを。×ミナテラス とちぎ with 歌う海賊団ッ！ オータムファミリーコンサート in ミナテラス」が開催されました。

子ども食堂への理解を広げ、支援の輪をつなげることを目的としており、2022年の初開催から今回で4回目となります。

多数の応募の中から抽選で選ばれた150組のご家族が参加。会場では、コンサートで使用する楽器づくりのためには、どんぐりなどの材料が配布され、親子で制作を楽しむ様子が見られました。

このイベントは、親子のふれあいを深めるとともに、子



「歌う海賊団ッ！」せんちょー。

午後1時、結成20周年を迎えた「歌う海賊団ッ！」せんちょー。の元気な掛け声「ヨーホー！」を合図に、待望のスペシャルライブがスタートしました。

歌って踊って  
笑顔でひとつに

1曲目の「虹色カーニバル」では、色とりどりの大きなバルーンが会場に登場し、子どもたちは大興奮！ バルーンが頭上を舞う中、子どもたちだけでなく、パパやママ、おじいちゃんおばあちゃんも一緒に歌って踊り、会場は大盛り上がり。人気曲が披露されるたびに歓声と拍手が広がり、会場の熱気はさらに高まります。

終了後には、海賊団とのハイタッチ会やサイン会が行われ、会場はさらに盛り上がり

「皆さんの思いに支えられた」と写真撮影を楽しみ、直接ふれあう時に目を輝かせながら、楽しい思い出をつくってきました。

フィナーレで「ゲンキのジユモン」が流れるごとに、子どもたちはもちろん、大人たちも立ち上がって一緒に踊り、会場全体が一つになる瞬間も。音楽と笑顔が響き合う、忘れられないひとときとなりました。

今年も届けられた  
温かな応援の気持ち

終了後には、海賊団とのハイタッチ会やサイン会が行われ、会場はさらに盛り上がり

「皆さんの思いに支えられた」と写真撮影を楽しみ、直接ふれあう時に目を輝かせながら、楽しい思い出をつくってきました。

## 虐待ゼロへ

いのちに  
ハグ"を。  
とちぎ

## 特別号

企画・制作 下野新聞社ビジネス局  
協 黄 栃木トヨタ自動車

「虐待ゼロへ いのちにハグを。とちぎ」キャンペーンでは、今年も引き続き「いのちにハグを。ACTION」を軸に、地域全体での啓発活動を積極的に展開しています。11月16日には、宇都宮市のミナテラスとちぎにて、子ども食堂の取り組みを応援するスペシャルイベントが開催されました。

